

あらためまして、皆さん、おはようございます。  
新しい学年がいよいよ始まりました。

2年生、3年生の皆さんには、これから学校の中心となって活躍する1年が始まります。  
特に3年生にとっては、高校生活最後の1年です。この1年間が、皆さんにとってかけがえのない時間となるよう、一日一日を大切に過ごしてください。

さて、今、私たちを取り巻く社会は、かつてないほどのスピードで変化しています。  
「VUCA（ブーカ）」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？  
これは、「変動性（Volatility）」「不確実性（Uncertainty）」「複雑性（Complexity）」「曖昧性（Ambiguity）」の頭文字を取ったもので、未来の予測が極めて困難な時代であることを表しています。

これまでの「成功のルール」が通用しなくなり、「正解」が見えにくい時代とも言えます。  
だからこそ、皆さんには「自ら考え、判断し、行動する力」を身につけてほしいと願っています。

受け身の姿勢では、この時代を生き抜くことはできません。では、どうすればその力を育むことができるのでしょうか。

ここで、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の話をしましょう。  
彼は世界的なスーパースターですが、その姿勢や行動には、私たちが学べることがたくさんあります。  
中でも有名なのが「ゴミ拾い」です。試合でどんなに活躍しても、大谷選手は目の前のゴミをさりげなく拾い、ポケットに入れます。

もちろん、メジャーリーガーになることは簡単ではありません。でも、大谷選手のように「ゴミを拾う」ことは、誰にでもできるはずです。  
それなのに、実際には多くの人がやっていません。なぜでしょう？

「すごい人のすごい行動」には憧れても、「自分にもできる行動」にはなかなか目が向かないからかもしれません。  
私たちは、「才能や努力は真似できない」と思いがちですが、「今すぐ実践できる姿勢」にも大切な学びがあります。

「ゴミを拾う」という行為も、大谷選手が持つ「自ら考えて行動する姿勢」のあらわれです。  
彼はその行動に、意味づけの工夫をしています。  
「落ちているゴミは、誰かが落とした運。拾えば自分に運がやってくる」と考えているそうです。

実は私も、日々試される瞬間があります。突然、足元に現れるゴミ。  
「拾うのか、拾わないのか、どっちなんだい？」と、自分の心が問われているように感じます。

そして、私もまた、迷いながらも日々、決断をしています。

さて、皆さんはこの1年をどう過ごすでしょうか。

3年生の皆さんには、いよいよ部活動などもラストシーズンを迎えます。そのあとは、進路選択の時期です。

受験や就職に向けて、自分の未来を真剣に見つめ、決断していく1年になるでしょう。

2年生の皆さんには、学校の「核」となる学年です。皆さんの言動ひとつひとつが、学校全体の雰囲気をつくります。

授業での発言、掃除、友人との対話、部活動での姿勢、困っている人への気配り——そのすべてが、「考えて行動する」ことにつながっています。

日々の小さな選択が、皆さん自身を形づくっていくのです。

最後に、今年の1月から3月まで放送されていたTBS日曜劇場「御上先生」のセリフを一つ紹介します。

このドラマは、現代の教育のあり方を問いかけるものでした。

主演の松坂桃李さん演じる御上先生は、生徒たちにこう語ります。

「考へても、考へても答えの出せない問題は、この世にたくさんある。

でも考へ続けること、答えが出ない問題を投げ出さずに考へ続けること——

その力そのものが、『考える力』だ。考へて。」

この言葉の意味を、これからの中高生活の中で、じっくりと考へてみてください。

正解のない時代を生き抜く力は、皆さん一人ひとりの中にあります。

「考へ続けること」「挑戦し続けること」が、皆さんの未来を切り拓く鍵になります。

さあ、新しい学期が始まりました。

これから毎日をどう過ごすかは、皆さん自身の選択にかかっています。

「自ら考へ、判断し、行動すること」を習慣にし、自分の未来を切り開いていってください。

また、生徒のみなさんから『キリショウっていいよね』とさらに言っていただけるような学校になるよう私も努力します。みなさんもぜひ校長室に来てください。

それでは皆さんの成長を、心から楽しみにしています。